

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2018-136840 (P2018-136840A)

【公開日】平成 30 年 8 月 30 日 (2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2018-033

【出願番号】特願 2017-32117 (P2017-32117)

【国際特許分類】

G 0 8 B 23/00 (2006.01)

G 0 8 B 25/04 (2006.01)

G 0 8 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 B 23/00 5 3 0 A

G 0 8 B 25/04 E

G 0 8 B 21/00 A

H 0 4 M 1/00 U

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の警備モードにより警備対象を警備する警備装置と、前記警備装置と通信可能な携帯端末と、を具備する警備システムであって、

前記警備装置は、

ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、少なくとも切替後の警備モードを識別するモード識別情報を含むモード切替信号を前記携帯端末へ送信する警備モード制御手段を有し、

前記携帯端末は、

前記警備モードに関するメッセージをチャット画面上に時系列に表示する表示制御手段と、

前記モード識別情報に応じて異なる複数のモード切替メッセージを記憶する記憶手段と、

前記受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報に対応するモード切替メッセージを特定するメッセージ特定手段と、を有し、

前記表示制御手段は、前記特定したモード切替メッセージを前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示する、

警備システム。

【請求項 2】

複数の警備モードにより警備対象を警備する警備装置と通信可能な携帯端末であって、

前記警備装置は、ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、少なくとも切替後の警備モードを識別するモード識別情報を含むモード切替信号を前記携帯端末へ送信するものであり、

前記警備モードに関するメッセージをチャット画面上に時系列に表示する表示制御手段

と、

前記モード識別情報に応じて異なる複数のモード切替メッセージを記憶する記憶手段と

、

前記受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報に対応するモード切替メッセージを特定するメッセージ特定手段と、を有し、

前記表示制御手段は、前記特定したモード切替メッセージを前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示する

携帯端末。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の携帯端末であって、

前記警備装置には、当該携帯端末のユーザと他のユーザとを識別するユーザ識別情報が登録され、前記警備装置は、前記モード切替信号に、少なくとも、前記切替操作の操作者であるユーザのユーザ識別情報と、切替後の警備モードを識別するモード識別情報とを含ませ、

前記記憶手段は、前記ユーザ識別情報が当該携帯端末のユーザと前記他のユーザのいずれを識別するかに応じて異なるモード切替メッセージを記憶し、

前記メッセージ特定手段は、前記モード切替信号に含まれる前記モード識別情報及び前記ユーザ識別情報に応じて前記モード切替メッセージを特定する

携帯端末。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の携帯端末であって、

前記表示制御手段は、前記チャット画面上に、前記ユーザ識別情報及び前記モード識別情報から特定したモード切替メッセージと、前記ユーザ識別情報に対応する操作者情報とを基に 1 つのメッセージを生成して表示する

携帯端末。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 のいずれかに記載の携帯端末であって、

操作手段を介した前記ユーザの切替操作に応じて、前記警備モードの切替要求信号を前記警備装置へ送信する通信手段を有し、

前記記憶手段は、前記切替要求信号の内容に対応する異なる複数のモード操作メッセージを、前記モード切替メッセージと区別して記憶し、

前記メッセージ特定手段は、前記モード切替信号の受信時または前記切替要求信号の送信時に、対応するモード切替メッセージまたはモード操作メッセージを特定し、

前記表示制御手段は、前記モード切替メッセージと前記モード操作メッセージとを、前記チャット画面上の異なる領域に区別して、対話形式で時系列に表示する

携帯端末。

【請求項 6】

複数の警備モードにより警備対象を警備する警備装置及び携帯端末と通信可能なサーバ装置であって、

前記警備装置は、ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、少なくとも切替後の警備モードを識別するモード識別情報を含むモード切替信号を、当該サーバ装置を介して前記携帯端末へ送信するものであり、

前記携帯端末は、前記警備モードに関するメッセージをチャット画面上に時系列に表示可能であり、前記受信したモード切替メッセージを、前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示するものであり、

当該サーバ装置は、

前記モード識別情報に応じて異なる複数のモード切替メッセージを記憶する記憶手段と、

前記警備装置から受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報に対応するモード切替メッセージを特定して前記携帯端末へ送信するメッセージ特定手段と、

を具備する、
サーバ装置。

【請求項 7】

複数の警備モードにより警備対象を警備し、当該警備対象の複数のユーザが所持する複数の携帯端末と通信可能な警備装置であって、

前記複数の携帯端末は、前記警備モードに関するメッセージをチャット画面上に時系列に表示可能であり、モード識別情報及びユーザ識別情報に応じて異なる複数のモード切替メッセージを記憶し、前記警備装置から受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報及び前記ユーザ識別情報に対応するモード切替メッセージを特定し、当該特定したモード切替メッセージを前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示するものであり、

前記複数の携帯端末のユーザを識別する前記ユーザ識別情報、及び、前記警備モードを識別する前記モード識別情報を記憶する記憶手段と、

前記ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、前記ユーザを識別するユーザ識別情報と切替後の警備モードを識別するモード識別情報とを含む前記モード切替信号を、前記複数の携帯端末に送信する警備モード制御手段と、を具備する

警備装置。

【請求項 8】

複数の警備モードにより警備対象を警備する警備装置と通信可能な携帯端末において実行されるプログラムであって、

前記警備装置は、ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、少なくとも切替後の警備モードを識別するモード識別情報を含むモード切替信号を前記携帯端末へ送信し、

当該プログラムは、前記携帯端末に、

前記警備モードに関するメッセージを時系列に表示可能なチャット画面を表示する処理と、

前記モード識別情報に応じて記憶された異なる複数のモード切替メッセージのうち、前記受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報に対応するモード切替メッセージを特定する処理と、

前記特定したモード切替メッセージを前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示する処理と

を実行させるプログラム。

【請求項 9】

複数の警備モードにより警備対象を警備する警備装置と、前記警備装置と通信可能な携帯端末と、を具備する警備システムによる警備方法であって、

前記警備装置により、

ユーザによる前記警備モードの切替操作に基づいて前記警備モードを切り替え、少なくとも切替後の警備モードを識別するモード識別情報を含むモード切替信号を前記携帯端末へ送信し、

前記携帯端末により、

前記警備モードに関するメッセージを時系列に表示可能なチャット画面を表示し、

前記モード識別情報に応じて記憶された異なる複数のモード切替メッセージのうち、前記受信したモード切替信号に含まれる前記モード識別情報に対応するモード切替メッセージを特定し、

前記特定したモード切替メッセージを前記チャット画面上の最新メッセージとして追加表示する

警備方法。